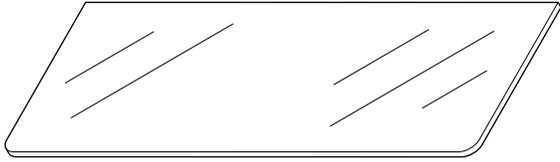


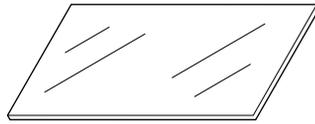
第1章 最初にすることは？

1 使用する部品を確認する

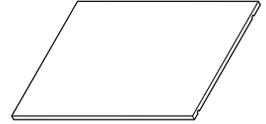
天板ガラス×1



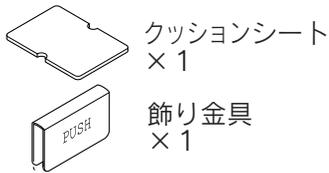
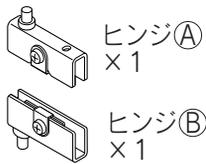
ガラス扉×1



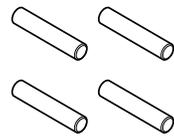
棚板×1



ガラス扉組立用部品一式

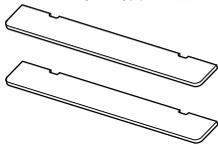


棚板受用ダボ×4

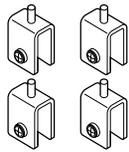


壁当て用部品一式

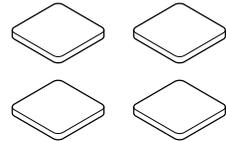
当て板×2



当て板金具×4



耐震マット×4



転倒防止用部品一式

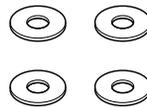
固定用ネジ A (M6, 12mm) ×2



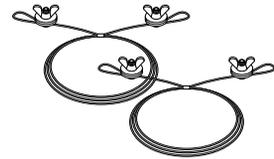
固定用ネジ B (M6, 30mm) ×2



ワッシャー×4



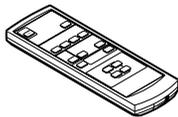
ワイヤー×2



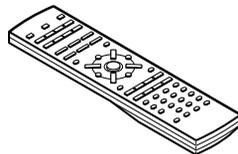
2 その他の付属品

リモコン×1

(ボタン電池が入っています。)

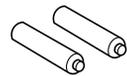


多機能リモコン×1



単4乾電池×2

(多機能リモコン用)



光デジタル音声ケーブル×1

(約1.5m)



音声コード×1

(約1.5m)



電源コード×1

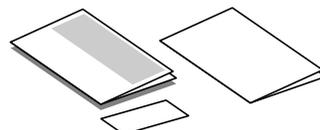
(約1.5m)



取扱説明書×1

かんたん!!ガイド (操作早見表) (本書) ×1

保証書×1





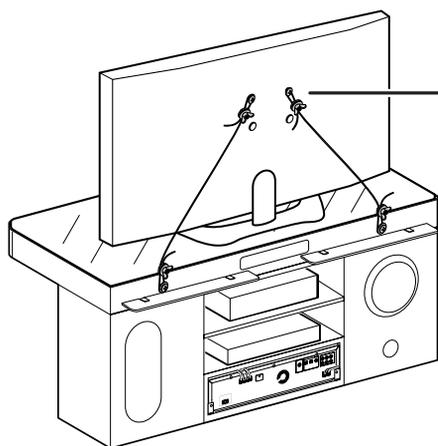
前面

ご注意

- 製品を移動するときや設置するときは、ネット部分（前面）を持たないでください。
ネット部分やスピーカーの破損の原因となります。
- 本機をぐらついた台の上や不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続線など外部の接続コード、転倒防止具をはずしたことを確認のうえ、行ってください。
落下や転倒など思わぬ事故の原因となることがあります。
- 本機の上にテレビやその他の機器を載せたまま移動しないでください。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- ガラスは強化ガラスを使用していますが、とがった物を落としたりぶついたりすると割れることがありますのでご注意ください。
- ガラス扉ヒンジのネジが緩んでいないか時々点検し、緩み始めたら締め直してください。
ガラス扉のズレが生じた場合は、ガラス扉ヒンジのネジで調整してください。

お知らせ

転倒防止用ワイヤーを取りつけるときは（7ページ）



付属の固定用ネジ①または②を使って取りつけます。

- 付属の固定用ネジ①、②は、シャープ45V型、37V型、32V型液晶カラーテレビ用です。
ただし、機種によって次のように使い分けてください。

機種名	使用するネジ
(一体型タイプのシャープ液晶カラーテレビ) LC-45BE1W、LC-45BE2W、LC-45AE5、LC-37BE1W、LC-37BE2W、 LC-37BD1W、LC-37BD2W、LC-37AD5、LC-37GE2、LC-37GD3、 LC-37GD4、LC-37GD6、LC-37GD7、LC-32BD1W、LC-32BD2W、 LC-32AD5、LC-32GD3、LC-32GD4、LC-32GD6	 固定用ネジ ① (M6, 12mm)
(セパレートタイプのシャープ液晶カラーテレビ) LC-45GD1、LC-45GX6、LC-37AD1、LC-37AD2、LC-37BD5、 LC-37HV4、LC-37HV6、LC-37AA1、LC-37GD1、LC-37GD2、 LC-37G4、LC-37U5-B/-R、LC-37L5-B/-T、LC-37W5C/K、 LC-32GD1、LC-32GD2、LC-32G4	 固定用ネジ ② (M6, 30mm)

- その他のテレビの場合、ネジが合わないことや、取り付け用ネジ穴がないことがありますので、ご使用のテレビの取扱説明書をごらんのうえ、転倒防止策の実施をお願いします。
- シャープ45V型、37V型、32V型液晶カラーテレビに付属されている、「転倒防止用固定バンド」は、本機の天面がガラスのため、背面の木部へ市販の木ネジで固定してください。

第2章

本機に棚板やガラス扉などを取りつけましょう

作業は、2人以上で行ってください。



- 本機は非常に重いので、持ち運びなどの作業は必ず2人以上で行ってください。腰を痛めたり、けがや故障の原因となることがあります。
- 安全のために、手袋を着用してください。

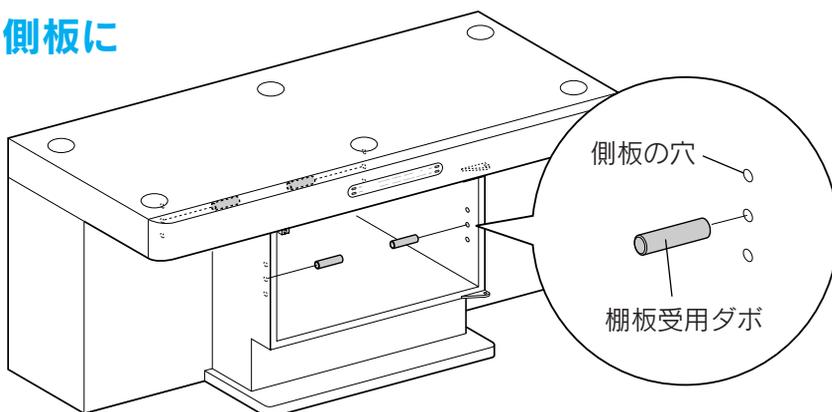
用意する工具

プラスドライバー
(市販品)



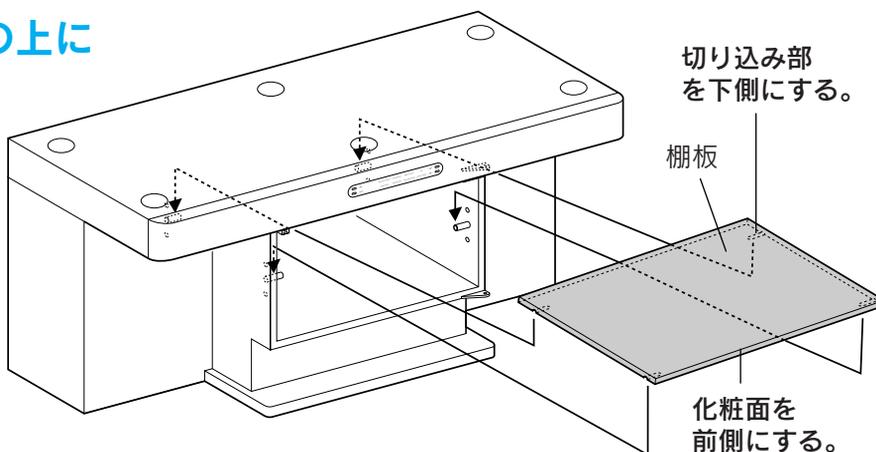
1 棚板を取りつける

1 棚板受用ダボ(4個)を側板に差し込む。



- 設置する機器に合わせて、高さを調整できます。(3段階)
- 前後、左右同じ高さとなるように取り付けます。
- 棚受用ダボは確実に取りつけてください。中途半端な取り付けでは、棚板がはずれて物が落ち、破損やけがをすることがあります。

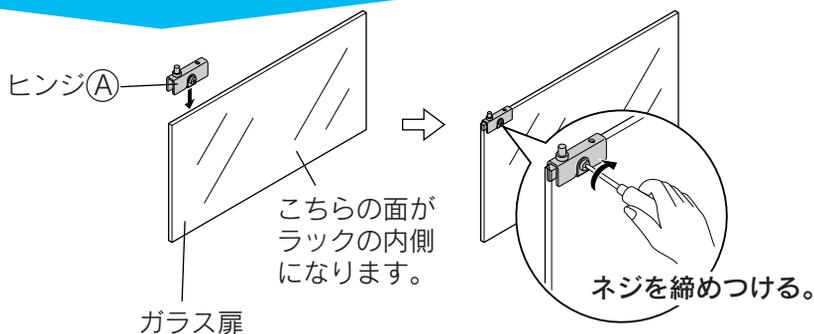
2 棚板を棚板受用ダボの上に載せる。



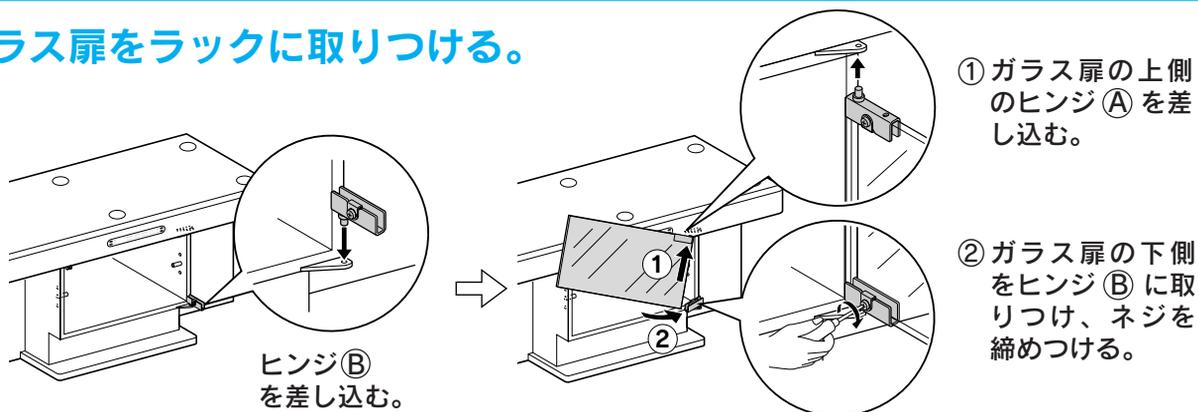
次のページの手順へつづく

2 ガラス扉を取りつける

1 ガラス扉の上側に、
ヒンジAを取りつける。

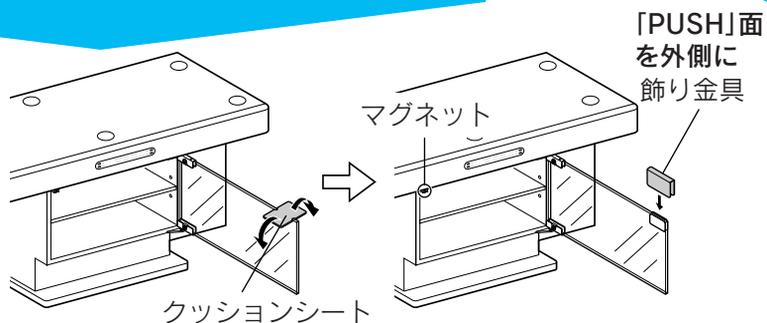


2 ガラス扉をラックに取りつける。



3 飾り金具を取りつける

マグネットがあたる位置に
合わせてクッションシート
を貼りつけたあと、飾り金
具を差し込む。

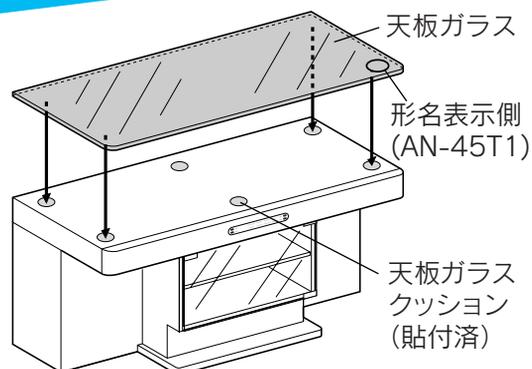


4 天板ガラスを天面に載せる

この作業は2人以上で行ってください

★
ご注意

天板ガラスは固定されません。
天板ガラスを載せたあと、本機を移動するときは傾けないでください。
天板ガラスが落下してけがの原因になることがあります。

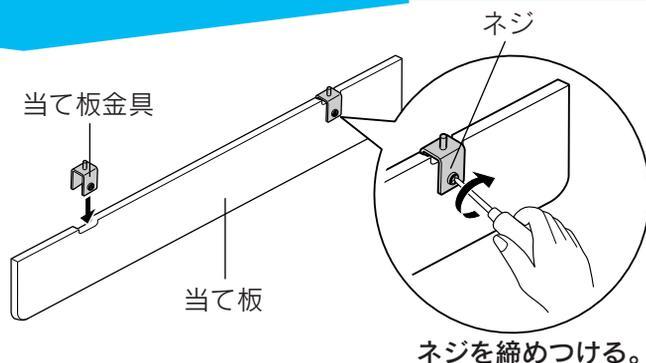


次のページの手順へつづく

5 当て板を取りつける

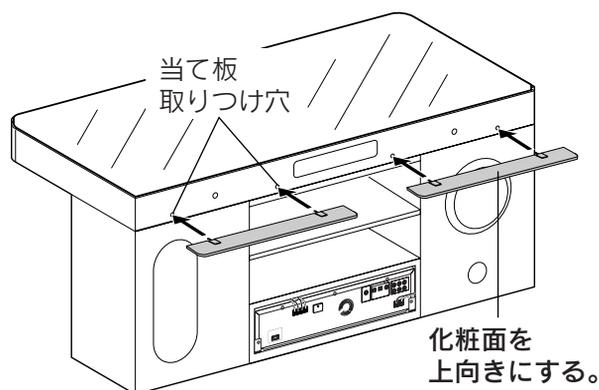
1 当て板に当て板金具を取りつける。

当て板金具のネジ側の部分が当て板の化粧面でない側になるように取りつけてください。



2 当て板をラックに差し込む。

移動するときは、当て板を持たないでください。



6 本機やテレビなどを設置する

1 本機を部屋に設置する。

テレビやDVDプレーヤーなどを設置したり、接続したりするときは作業スペースを確保のうえ、設置してください。
(設置するときは、2人以上で行い、傾けないように移動してください。)

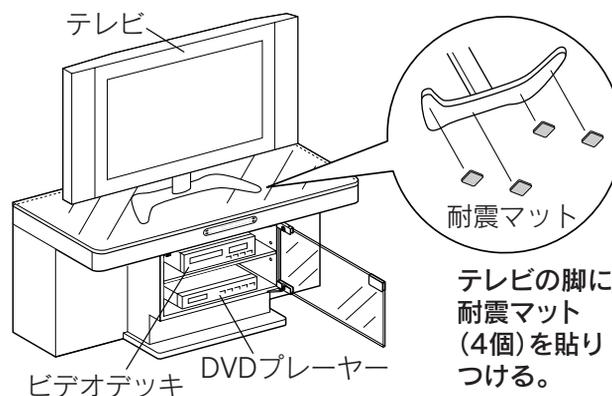


2 テレビやDVDプレーヤーなどを設置する。

耐震マットはテレビの転倒防止策と一緒にご使用ください。(7ページ)
テレビの脚形状により、付属の耐震マットが使えないときは、市販の耐震マットを使用してください。

ご注意

テレビを移動するときは、テレビの脚から耐震マットをはがしてください。耐震マットは粘着力が強いので、ガラスと一緒に動いてけがの原因となることがあります。



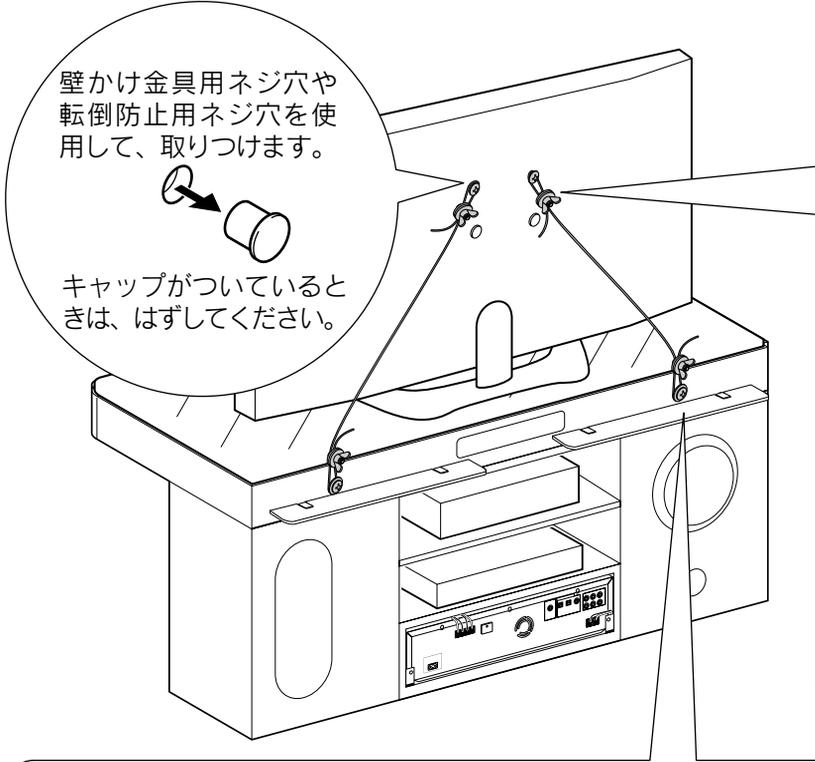
次のページの手順へつづく

7 転倒防止用ワイヤーを取りつける

部品を取りつけよう

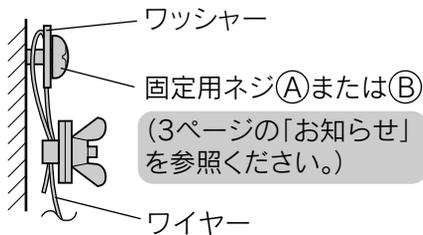
本機に棚板やガラス扉などを取りつけましょう

テレビを設置するときは、不意の地震のときや、お子様がテレビや本機に登ったり、ぶらさがったり、揺すったりしますと、倒れてけがをする恐れがあります。本機に同梱のテレビ転倒防止用ワイヤーを使用して、転倒防止策の実施をお願いします。

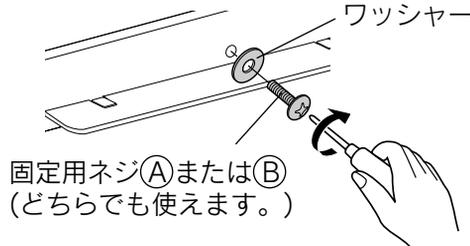


1 テレビ本体にワッシャーと固定用ネジ(A)または(B)を取りつける。

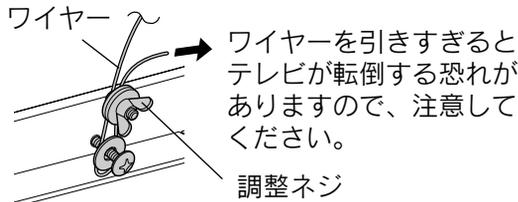
2 ワッシャーのすきまにワイヤーをかけて、固定用ネジを締め直す。



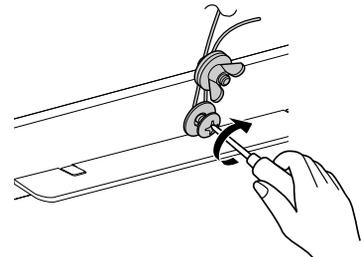
3 転倒防止用ワイヤー取付部にワッシャーと固定用ネジ(A)または(B)を取りつける。



4 ワッシャーのすきまにワイヤーをかけて、ワイヤーがたるまない程度にワイヤーを引っ張り、調整ネジを締める。



5 固定用ネジをしっかりと締めて固定する。



6 4つの調整ネジをしっかりと締め直す。

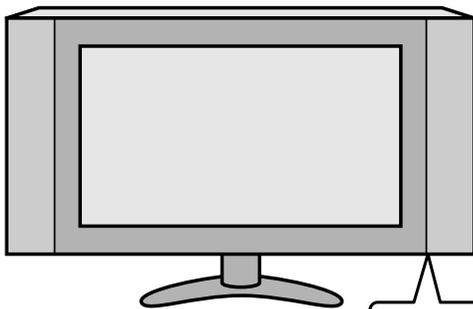
第3章

テレビやDVDプレーヤーなどを接続しましょう



接続するときは、それぞれの機器の電源コードを抜いてから行ってください。また、それぞれの機器の取扱説明書もよくごらんください。

テレビ



音声多重放送をお聞きになるときは、音声入力端子（アナログ）に接続して、 入力切換 を接続した入力にしてください。



音声出力端子へ

デジタル音声出力端子(光)へ

音声信号

音声コード

光デジタル音声ケーブル

音声信号



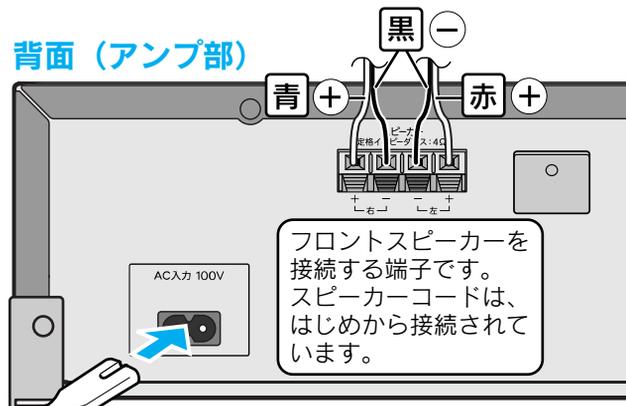
AC 100 V,
50/60 Hz
家庭用コンセントへ

電源コード
(付属品)

最後に！

すべての接続が正しくつながれているか確認したあとで、電源コードを家庭用コンセントに差し込んでください。

背面（アンプ部）

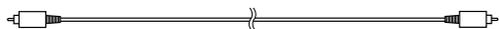


AC 電源入力端子へ

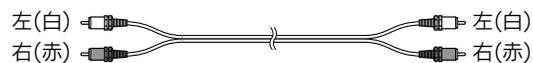
フロントスピーカーを接続する端子です。スピーカーコードは、はじめから接続されています。

使うコード

光デジタル音声ケーブル (付属品または市販品)



音声コード (付属品または市販品)



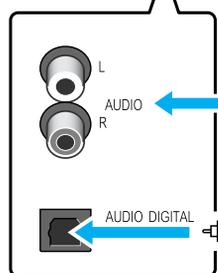
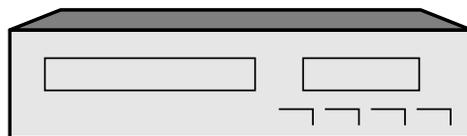
DVDプレーヤー

映像信号は
テレビへ



ビデオデッキ

映像信号は
テレビへ

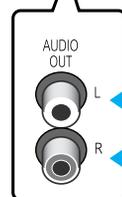


アナログ音声出力を
使うときは、音声入力へ
接続する。

デジタル音声
出力端子(光)へ

光デジタル音声ケーブル

音声信号

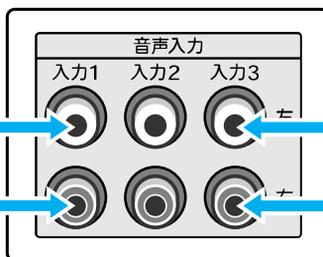


音声出力端子へ

音声信号

音声コード

音声入力端子へ



音声入力端子へ

デジタル音声
入力端子(光)へ

デジタル音声
入力端子(光)へ



サブウー
ハー
出力

デジタル音声入力
光1 光2 同軸3

音声入力
入力1 入力2 入力3
左 右

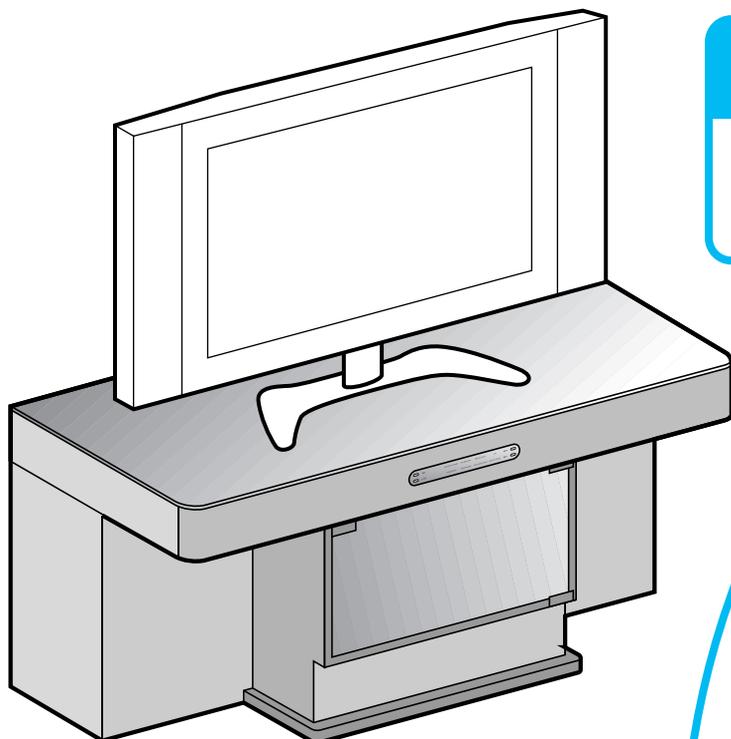
黒 -

灰 +

サブウーハーを接続
する端子です。
スピーカーコードは、
はじめから接続され
ています。

第4章

テレビやDVD、ビデオなどの音を聞いてみましょう



① 電源を入れる。

電源



- つないだ機器の電源も入れてください。
- もう一度押すと、電源が切れます。

音量の調整

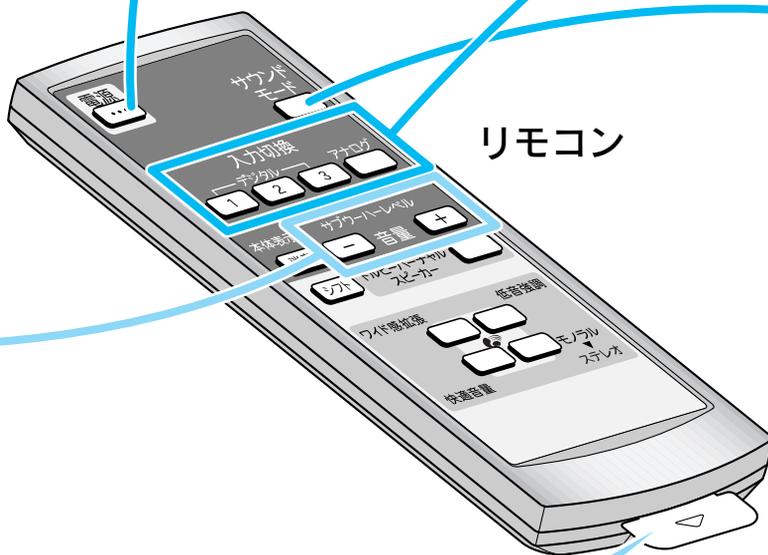
サブウーハーレベル



小さくなる

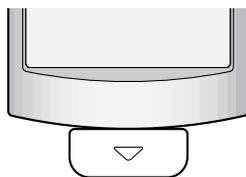
大きくなる

リモコン



ご使用まえの準備…

リモコンの中にはボタン電池が入っています。はじめてお使いになるときは、保護シートを取り外してください。



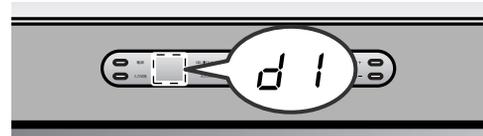
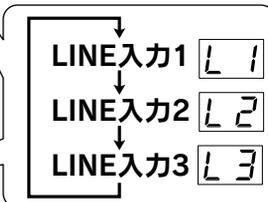
引き抜く

② 再生する機器に合わせて、入力を選ぶ。



デジタル入力1 **d 1**
デジタル入力2 **d 2**
デジタル入力3 **d 3**

- デジタル入力は、それぞれのボタンを押します。
(デジタル入力に信号がないときは、表示が点滅します。)
- アナログ (LINE) 入力は、くり返し押します。



③ つないだ機器を再生する。

操作手順などにつきましては、それぞれの機器の取扱説明書をごらんください。

プリセットサウンドモードで、いろいろな音を楽しんでみましょう。

最適な音質となるように、推奨するレベル値に調整された6種類のプリセットサウンドモードの中から、お好みのサウンドモードを選んで楽しみましょう。

サウンドモード をくり返し押して、聞きたいサウンドモードを選ぶ。

STANDARD	S d	標準のステレオモードです。
↓		
CINEMA	C i	映画などに適したモードです。
↓		
ANNOUNCER	A n	ニュースなどに適したモードです。
↓		
SOUND	S o	音楽などに適したモードです。
↓		
SPORTS	S p	野球やサッカーなどのスポーツ中継に適したモードです。
↓		
LATE	L A	映画などの音を深夜に小音量で聞くとときに適したモードです。

このほかにも「ドルビーバーチャルスピーカー (DVS)」や「オーディストリー」のモードを使って、いろいろな音を楽しむことができます。くわしくは、取扱説明書 (29～34ページ) をごらんください。

● 製品についてのお問い合わせは・・

お客様相談センター



0120-078-178

フリーダイヤルがご利用いただけない場合は

東日本相談室 TEL 043-351-1821 FAX 043-299-8280
西日本相談室 TEL 06-6792-1582 FAX 06-6792-5993

《受付時間》 月曜～土曜：午前9時～午後6時 日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

● 修理のご相談は・・

別冊の「取扱説明書」47ページ記載の『お客様ご相談窓口のご案内』をご参照ください。

● シャープホームページ

<http://www.sharp.co.jp/>

シャープ株式会社

本 社 〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号
AVシステム事業本部 〒329-2193 栃木県矢板市早川町174番地